

ま え が き

我が国が、変動の激しいこれからの時代において、世界に貢献する品格ある文化国家として発展するためには、国家・社会の形成者として、それぞれの分野で存分に活躍することのできる基盤を、学校教育を通じて培う必要があるとの観点から、現在国において、「国際社会の中で活躍できる心豊かでたくましい人づくり」を目指した教育改革が着実に進められています。

本年1月に文部科学省がとりまとめた「教育改革のための重点行動計画」においては、今後重点的に取り組むべき施策として「活力ある人材を育てるための教育の充実」を掲げ、その施策の推進の柱として「確かな学力の向上」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」、「自立し挑戦する若者の育成」の4点を位置付けております。

本手引においては、こうした国の教育改革の動向等を踏まえ、平成16年度に行った「北海道公立学校学習状況調査」で明らかになった課題及び指導上の改善点や、学習意欲、PISA型「読解力」、思考力・判断力などを高める学習指導等の具体例を取り上げるとともに、キャリア教育を推進する上で参考となる実践例や、高校における望ましい特別支援教育の推進に係る実践例等を示したところであります。

この冊子が各学校における校内研修や様々な機会に十分活用され、それぞれの地域や学校の実態に応じた創意工夫ある教育課程の編成・実施がなされるよう期待しております。本手引の作成に当たり、お忙しい中、御協力いただいた方々に厚くお礼を申し上げます。

平成18年10月

北海道教育庁生涯学習部学校教育局高校教育課長

辻 敏 裕

